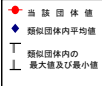


(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

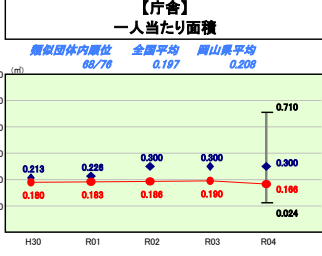
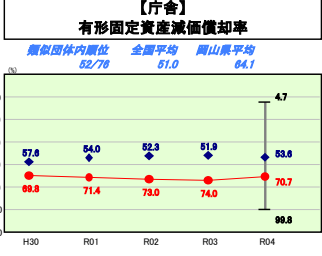
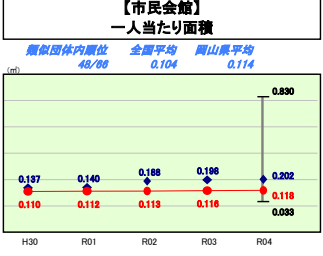
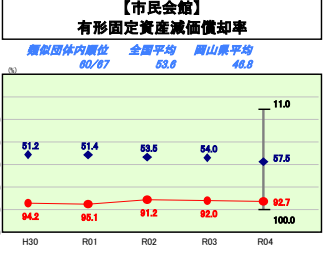
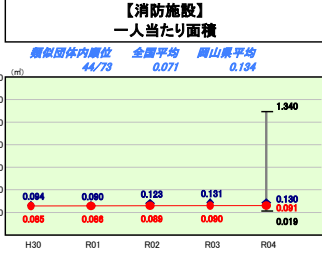
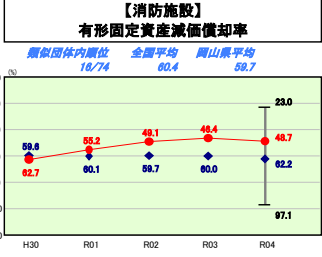
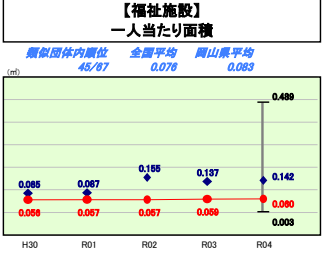
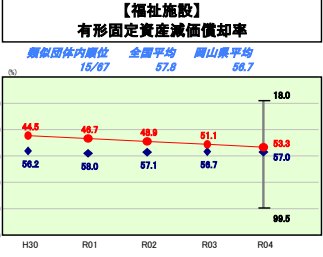
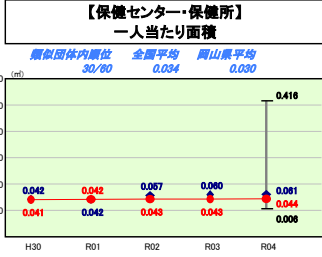
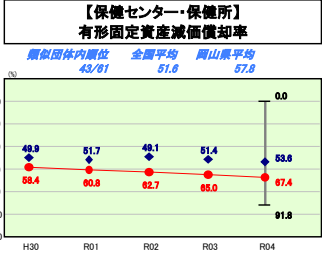
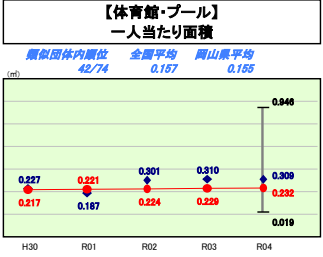
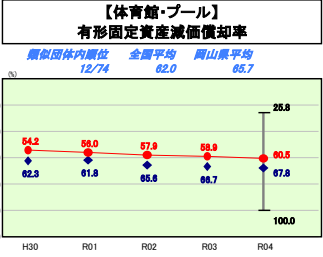
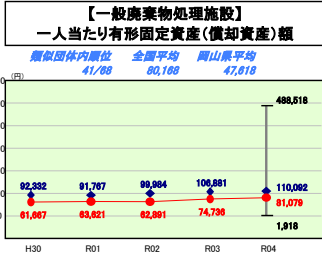
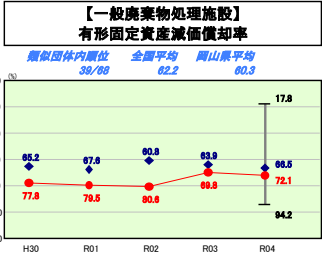
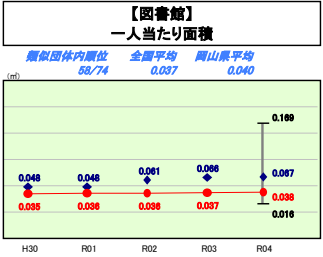
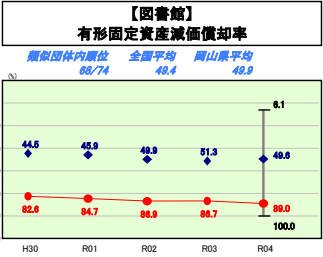
令和4年度

岡山県笠岡市

人	口	45,534	人(国.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人		44,843	人(国.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面	積	136.24	km ²	実質公債費比率	7.2	%
歳入	総額	25,628,587	千円	将来負担比率	51.3	%
歳出	総額	24,800,587	千円	市町村類型	H30Ⅱ-2 R01Ⅱ-2 R02Ⅰ-2	
実質収支		646,464	千円	(年度毎)	R03Ⅰ-2 R04Ⅰ-2	
標準財政規模		13,413,490	千円			
地方債現在高		27,442,216	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



施設情報の分析例

有形固定資産減価却率は、類似団体と比較してほぼ全ての施設において、平均より高い数値となっている。
これらの有形固定資産については、本来、計画的に整備(除却・換却・複合化など)の必要があるが、本市の財政事情により維持補修での対応が中心となっており、これが有形固定資産減価却率を引き上げる要因となっている。
どの施設についても、耐用年数を経過済または近いうちに経過するため、公共施設等総合管理計画に基づき適切な整備を行っていく必要がある。